



畑小 だより

佐渡市立畑野小学校
学校だより
令和3年11月15日発行
校長 古塩 正明
Tel.0259-66-2019

表現するということ

校長 古塩 正明

先日は、コロナ禍の中での2年目の文化祭を行いました。コロナ感染症も少しずつ収束の兆しが見えてはきましたが、まだ、第6波が来るようなことも言われております。そこで、今年度も学年入れ替わりというかたちで学習発表会を行わせていただきました。まだまだ制約の多い発表会ではありましたが、大勢のお家の方においでいただき、温かい目で参観していただきましたこと、深く御礼申し上げます。

また、今年は少しずつできることも増えました。リハーサルで全学年の発表を見ることができました。他学年の発表を見て、拍手をしたり、笑ったりして、とても楽しく喜びあふれる時間を過ごすことができました。当日は、校舎内での絵画や防犯灯籠の展示ができました。

10月に入り、立て続けに行事が続き、短い練習期間でしたが、子どもたちは自分たちのアイデアで、自分たちの手で、皆と力を合わせて主体的に発表練習に取り組んでいました。その間、絵画の制作に打ち込み、自分の手で表現する経験を積み重ねました。また、5・6年生は、佐渡市小学校音楽発表会に向けて、合唱の練習を積み重ねました。そして、先日、佐渡市の音楽発表会に参加し、練習の成果を発表していました。

「何をしたら、自分たちが学習したり体験したりしたことを分かりやすく伝えられるのか?」「どんな工夫をすると、感動を伝えられるのか?おもしろおかしく伝えられるのか?」それぞれの学年が、知恵を絞り、自分たちのやり方で、頑張りました。その過程こそが、表現することの第一歩であり、一番大切なことだと思います。

大勢の前での発表は、とても緊張することです。それは、子どもでも大人でも同じです。スポーツの試合や、試験やテスト等、プレッシャーがかかることは、いろいろな場面でいろいろなタイミングでやってきます。人が生きていく以上、言葉でも体でも物でも、何かを表現して、誰かに伝えていくことは、これからも必然的な行為であり、社会生活の中で身に付けていかななくてはならない重要な力です。

上手くできたこと、できなかったこと、やってよかった工夫、こうすればよかったと思うアイデアなどが、一人一人の子どもたちの心の中で振り返り、イメージされていることだろうと思います。これもまた表現の大切な要素です。そして大事なことは、伝えることの喜びや表現することの楽しさを、これからも持ち続けることです。

そういう意味では、練習段階から、当日、そしてその後まで一人一人が、輝いていた学習発表会ではなかったかと思えます。この経験を通してまた、ひとまわりもふたまわりも成長した畑っ子になってくれることでしょう。これからの活躍を大いに願っております。

ご観覧いただいた保護者、地域の皆様方の温かい拍手と励ましに感謝申し上げます。

6年修学旅行



本年度は、コロナ禍ということで、佐渡市内での修学旅行となりました。

それでも子どもたちは、初めて見た場所や体験で、思い出深い貴重な2日間を過ごせたのではないかと思います。

いろいろご準備いただいた保護者の皆様、担当していただいた旅行者様に深く感謝申し上げます。

校内マラソン記録会

昨年度できなかった、マラソン記録会を晴天のもと、実施することができました。

体力づくりは、健康を維持するための大切な取組です。大会に際し、ご協力いただきましたPTA育成部員様はじめ、応援に来ていただきました方々に深く感謝申し上げます。



文化祭

